



2023年 2月22日
第142号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集 情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



**2023年
2月15日**

JR東海労新幹線地本の仲間が 横浜地本に激励に来てくれました！

2023年2月15日、JR東海労新幹線地本の仲間のみなさんが、安全を脅かす懲罰的日勤教育とたたかう横浜地本に激励に来てくれました。

意見交換会では、国府津運輸区で発生している日勤教育における分会を中心としたたたかいや地本の横地申第15号団体交渉の現状と宇都宮運輸区での日勤教育などについて報告し共有しました。

また、JR東海からは、JR東海で過去にあった懲罰的日勤教育に対するたたかいについて報告を受けました。



たたかいの主戦場は職場！



仲間と連帯してたたかおう！

JR東海労からたたかいの報告

- ・JR東海でも同じような攻撃がずっとあった。
- ・日勤教育から乗務復帰するためには90点以上取らなければならない。合格できず2名が退職。裁判闘争などで70点まで下げた。現在は、ヒューマンエラーは正しい報告をすれば問題ない。
- ・管理者から「腕が曲がっている」など10の指摘を受けるとボーナスカットされていた。
- ・15日間連続添乗で10以上の指摘がされる。特定の人だけ添乗が多い。ミスをさせて脱退させる。
- ・添乗で質問攻めされる。「運転妨害だ」としてたたかった。
- ・状況報告書、顛末書、始末書を書かないたたかい。状況報告書はわかるが、顛末書や始末書は反省文。それをもとにボーナスカットがされる。当該組合員より周囲の組合員が自分事として捉えることが大事。
- ・社員証紛失で2年間の日勤教育。当該組合員に寄り添うことが大切。日勤後の組合員をフォローするため「17時半体制」を取って支えた。仲間があって乗り越えられる。
- ・サークルなど仲間のつながりが一番大事。

鉄道の安全を守るため仲間とともに職場から声を上げよう！